

リンナイの環境活動と 環境人づくり



リンナイ株式会社

2023年12月7日

Rinnai

本日のアジェンダ

- ◆ リンナイのご紹介
- ◆ リンナイの環境活動・人づくり

リンナイのご紹介

会社概要

2023年3月31日現在

商号	リンナイ株式会社
創業	1920年9月1日
資本金	64億84百万円
従業員数 (社員・パート)	単体 3,587名 連結 11,150名
売上高(連結)	4,252億円
グループ会社	46社 (国内12社、海外34社)

創業者の内藤秀次郎と林兼吉
両名の姓を取って「林内商会」
を創業したのがはじまり



初代社長 内藤秀次郎



本社(愛知県名古屋市中川区)

創業の原点はモノづくりへの思いから

1918年11月のある日、内藤秀次郎(25才)は、
今川焼の店先で珍しい石油コンロの青い炎に見とれていた

「このようなコンロを自分で造ってみたい」

その輸入品コンロをモデルに自力で商品化
ヒットを確信し、名古屋ガス(現、東邦ガス)から独立

1920年(大正9年)「林内商会」創業

「加圧式石油ガスコンロ」発売

金属の成形加工・線材加工・溶接で苦勞したが、この経験が、
モノづくりDNAを形成し、戦後創業の他社とは一線を画している



リンナイ 製品のあゆみ

出典：リンナイ株主通信第51号



100th Anniv.

つないだ情熱を
次の100年へ。

2020年9月1日、リンナイは創業100周年を迎えます。当社グループは時代のニーズに対応し、暮らしに貢献する多様な商品・サービスを提供し続けてまいりました。



1920年
実用新案を登録した
林内式石油ガスコンロ

故内藤英次郎(初代社長)と
故林兼吉(2代目社長)により林内商会創設。
石油ガスコンロの製造を開始



内藤英次郎 林兼吉

創業
1920年

1938年
車の監督工場となり、航空機部品の
製造開始。1940年には林内航空
機製作所に改称

1945年
戦禍にて事業を大幅に縮小。
約500名いた従業員は55名へ

1950年
株式会社に改組し、
社名を株式会社林内製作所とする
林内製作所

生活必需品として熱機器需要拡大



1964年
丹羽郡大口町に
大口工場を開業



1970年
台湾林内工業を設立。現地社
会への貢献をポリシーとする。
海外展開を本格的に開始

1980年
システムキッチンの普及を
背景とし、ビルトイン機器の
製造を開始



1971年
社名をリンナイ株式会社に変更
リンナイ株式会社

1983年
不完全燃焼防止装置搭載ガス
小型洗濯器ユーティを発売



1971年
直火型強制対流式オープン
ガス高速レンジコンベックを
開発、販売開始



世界初



国内初

1957年
シュバंक社(独)と技術提携し、
スタンド式のシュバंक式ガス
赤外線ストーブ発売

1999年
熱効率95%の高効率コンデンシング
ガス給湯器を発売。2000年に省エ
ネ大賞通商産業大臣賞を受賞



環境・省エネへの対応

2004年3月期
連結売上高
2,000億円達成

1989年3月期
連結売上高
1,000億円達成



1979年
瀬戸工場を開業。現在の主力事業
である給湯機器の本格的な生産
を開始

1983年
東京証券取引所、
名古屋証券取引所
第一部市場に上場

世界初 2008年
重曹洗浄モード搭載の
食器洗い乾燥機を発売



2017年
上質感と高級感を極限まで追求した厨房商品の
フラッグシップカテゴリ G(ジー)ライン誕生



ラク家事・時短ニーズ

2016年3月期
連結売上高
3,000億円達成



2013年
瀬戸市磯町に瀬戸工場
(現在の磯工場)を開業



世界初 2010年
ヒートポンプとガス給湯器を
組み合わせた家庭用ハイブリッド
給湯器の商品化



2007年
ビルトインコンロ
DELICIAシリーズ誕生



1999年
ガスファンヒーターと
空気清浄機を統合

2006年3月期
海外売上高比率
30%超
(32.9%)

2019年
グローバルブランドへ向けて
リンナイブランドロゴを一新

Rinnai

2019年3月期
海外売上高比率
50%超
(50.4%)

現在、リンナイグループは日本を
含む17の国・地域に拠点を持ち、
世界80ヶ国以上に商品を展開し
ています。
世界の市場に向けて、リンナイ
は、「熱と暮らし」「健康と暮らし」
をキーワードに独自の商品・サー
ビスを提供してまいります。

リンナイ グローバル市場でのあゆみ

出典：リンナイ株主通信第52号



100th Anniv.

つないだ情熱を
次の100年へ。

2020年9月1日、リンナイは創業100周年を迎えます。当社グループは時代のニーズに対応し、暮らしに貢献する多様な商品・サービスを提供し続けてまいりました。1970年代から推進したグローバル展開においては、現地に暮らす人々の生活文化の向上と雇用に貢献することをポリシーとして事業活動を行ってまいりました。

1937年
天津市を拠点として華北一円の市場に石油ガスコンロを展開



現在の台湾林内工業

1971年
リンナイオーストラリアを設立



現在のリンナイオーストラリア

1970年
台湾林内工業を設立。現地社会への貢献をポリシーとする海外展開を本格的に開始

1973年
リンナイマレーシアを設立



現在のリンナイニュージールランド、
現在のリンナイブラジルヒーターテク/ロジ

1975年
リンナイニュージールランド、
伯南リンナイ機器を設立
現：リンナイブラジルヒーターテク/ロジ

1974年
リンナイアメリカ、
リンナイコリアを設立



現在のリンナイアメリカ本社(左)と
グリフィン(リース)工場(右)



現在のリンナイコリア

1976年
リンナイイングストリス(UK)設立
現：リンナイUK



現在のリンナイニュージールランド、
現在のリンナイブラジルヒーターテク/ロジ

1971年
社名をリンナイ株式会社に变更
リンナイ株式会社

1950年
株式会社に改組し、
社名を株式会社林内製作所とする
林内製作所

創業～1960年代

1970年代
海外事業を本格スタート

上海林内を設立



現在の上海林内(左)と体験型ショールーム(右)

1991年
リンナイシンガポールを設立
現：リンナイホールディングス(シンフィック)

1990年
リンナイタイを設立



現在のリンナイタイ

1988年
リンナイインドネシアを設立



現在のリンナイインドネシア

1998年
林内香港、
リンナイベトナムを設立



現在のリンナイベトナム

2009年
リンナイカナダ
ホールディングスを設立

ドバイ駐在員事務所を開設



現在のドバイ駐在員事務所

2008年
リンナイイタリアを設立



現在のリンナイイタリア

2019年
オランダにリンナイ
トレーディングを設立

2000～2010年代
海外売上高比率50%超へ

2020年9月1日
創業
100周年

2019年
グローバルブランドへ向け
リンナイブランドロゴを一新

Rinnai



2008年
ガス瞬間式給湯器で、アメリカの省エネ
推進機構より「スーパーノバスター
アワード(エネルギー効率大賞)」を受賞



2008年
リンナイインドネシア、テーブル
コンロ部門でベストブランド賞
を初受賞。以来12回連続受賞

1983年
東京証券取引所、
名古屋証券取引所
第一部市場に上場

1996年
IAS(インターナショナル・
アプル・バル・サービス)
から検定代行機関として
認定取得

海外売上高比率
1997年3月期
10%超

2000年3月期
20%超

2006年3月期
30%超

海外売上高

2015年3月期
40%超

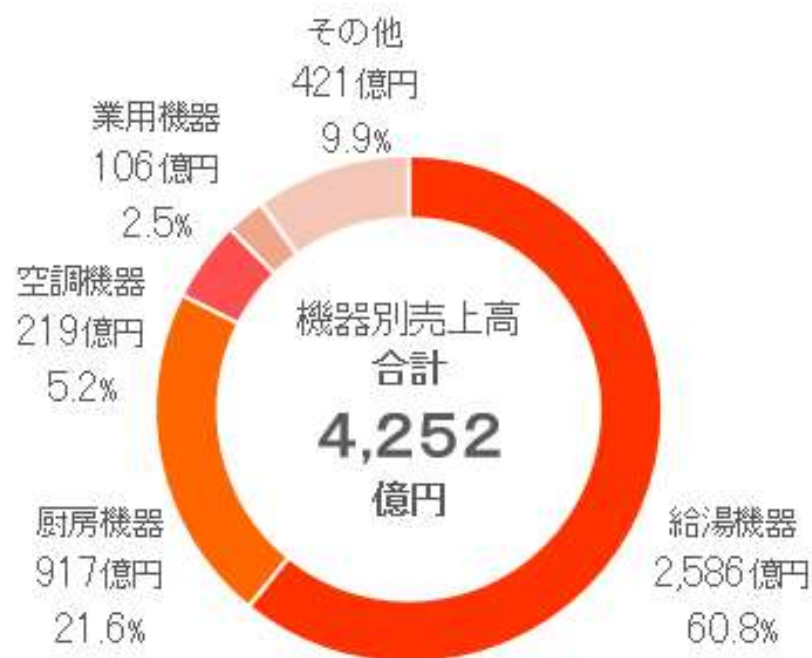
2019年3月期
50%超

2020年3月期
連結売上高 3,404億円
海外売上高 1,669億円
海外売上高比率 49%

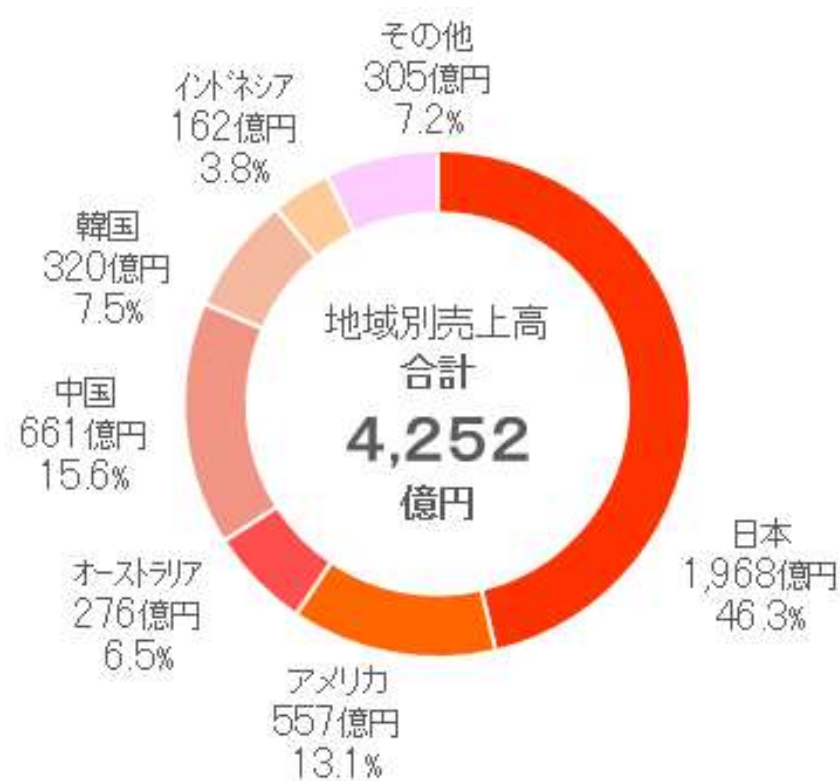
©Rinnai Corporation

リンナイ 売上高 (2023年3月期)

機器別売上高



地域別売上高



リンナイの環境活動・人づくり

社外表彰 ・ 環境人づくり企業大賞2020



2018年・2019年に 2年連続 “優秀賞” 受賞に続き、

環境 人づくり企業大賞2020で

“環境大臣賞”受賞

(主催:環境省・環境人材育成コンソーシアム(EcoLeaD))

<評価された主な取組み>

人づくりのための**基盤**



全員参加の環境活動(7E戦略)
(職場での環境取組み,浸透)

社員のモチベーションを上げる参加型の
イベント定着(環境大賞(社長表彰など))

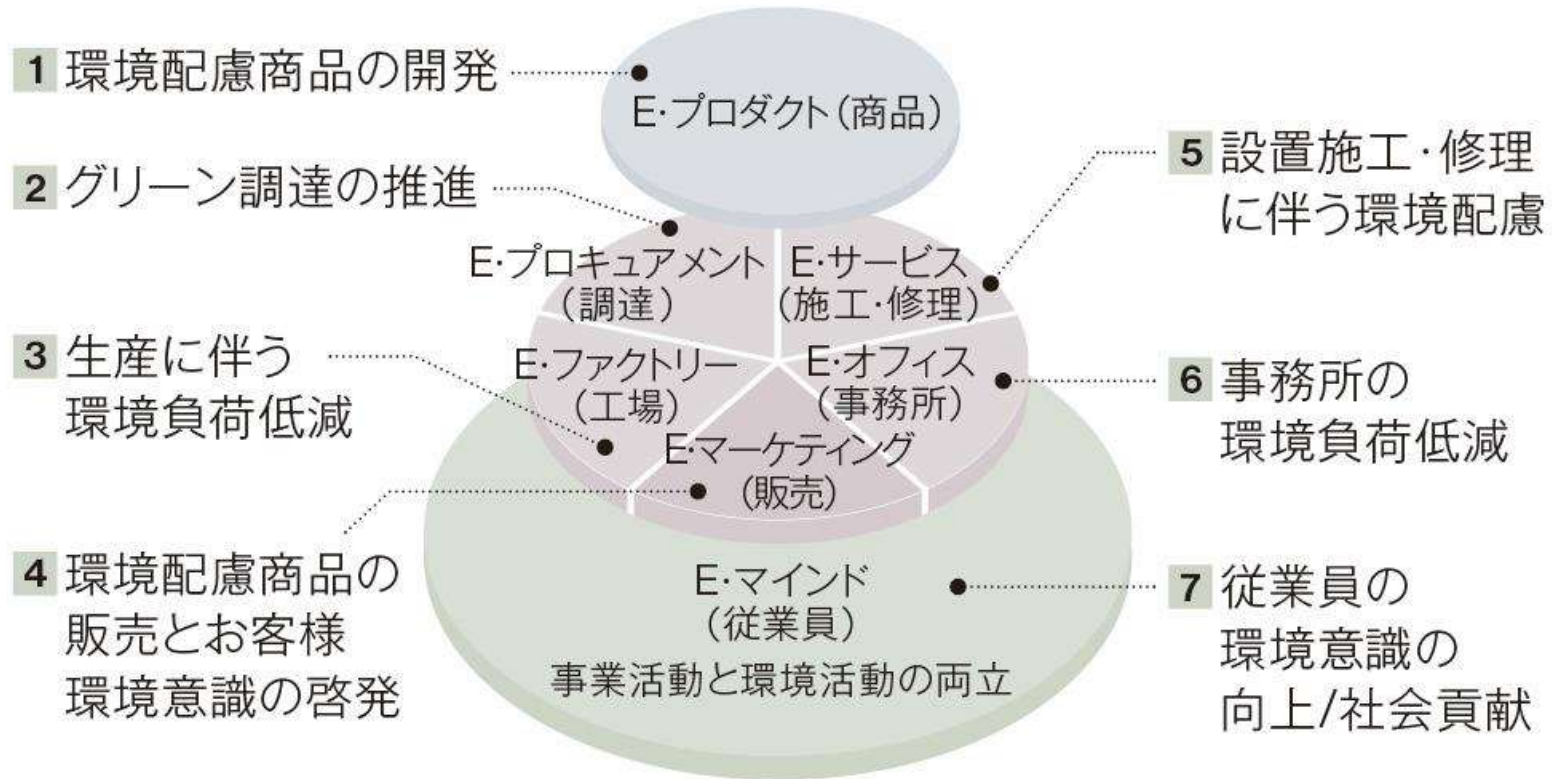
人づくりの**成果**



自社グループ・サプライチェーン
多岐に渡る改善(環境経営効果)

7E戦略

全事業域で全員参加の環境活動を推進



意識づけ 全社員に環境カードを携帯



<オモテ>

環境基本理念

リンナイは、人と地球にやさしい優れた技術の追求と、人間性豊かな製品の開発・生産活動・販売・サービスなどを通じて、地球規模での環境保全に取り組み、社会に貢献することを基本理念とする。

環境スローガン

私達は英知を結集し、人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。



リンナイ環境方針 要約版

① リンナイの事業活動における環境影響を的確にとらえ、環境負荷の低減・保全活動を進めます。



② 環境法規制及び、リンナイが認めたその他の要求事項を守ります。

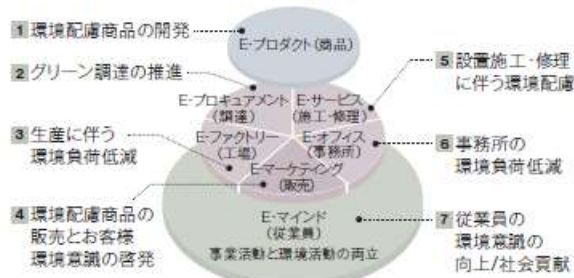


③ 全事業域で、全員参加の環境活動【7E戦略】を展開し、省エネ・省資源・リサイクル・地域社会との協調に努めます。



<ウラ>

リンナイの7E戦略

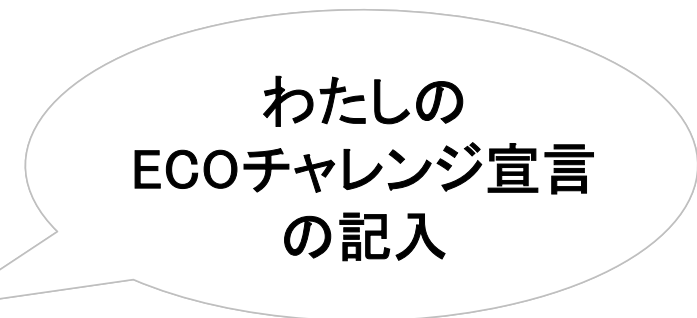


わたしのECOチャレンジ宣言

わたし_____は、持続可能な社会に貢献するために、以下の取り組みにチャレンジします。

わたしの業務は、7E戦略のE_____に該当し
具体的には…

家庭では、Eマインドの向上に向けて…

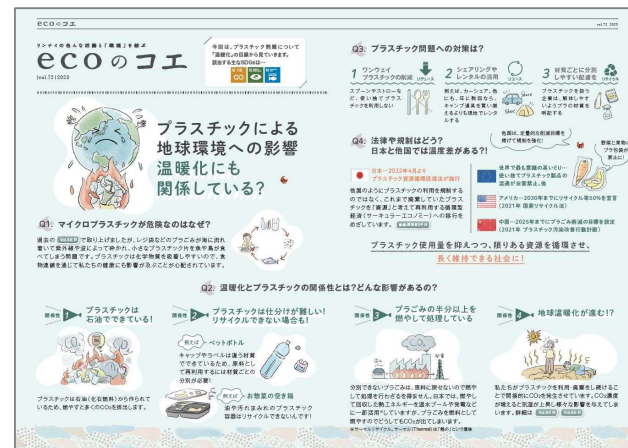


環境社内報「ecoのコエ」

■発行時期：4回/年

■発信媒体：紙・社内Web

■対象：リンナイグループ従業員



社内Webアクセス
約15,000PV/年
(PV: アクセス数)

読者アンケート結果
「内容を理解できた」の回答者 75% → 78%

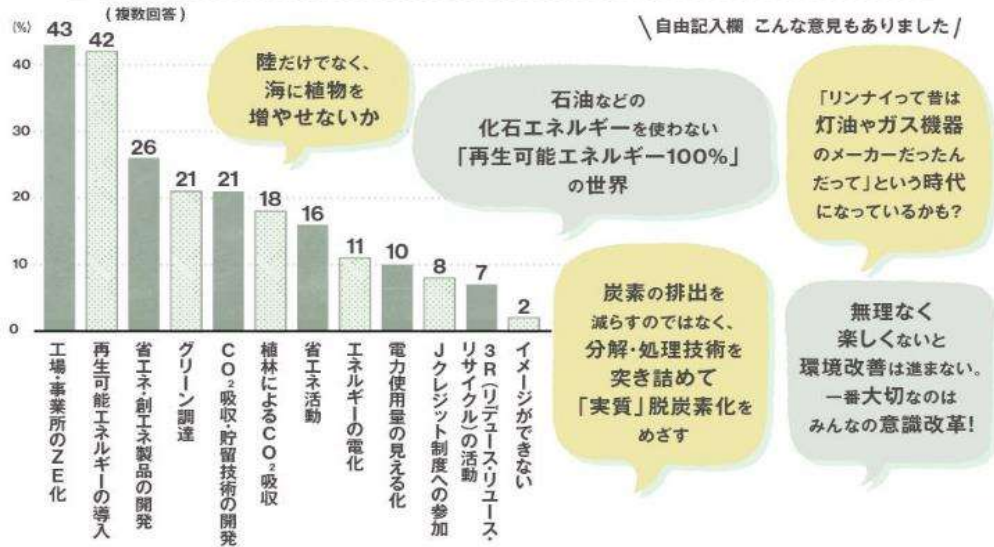
社内報の中で 社員へ「環境テーマの意識調査」を実施

リンナイグループの社員に聞きました！ カーボンニュートラル意識調査

ecoのコエでは、読者アンケートを通じて「カーボンニュートラル」に関する質問を投げかけました。

(N=220、集計期間:2022/3/1~31、対象:リンナイG、方法:Web・紙)

Q カーボンニュートラルの実現に必要なことは何だと思いますか？



最近の掲載テーマ(身近な環境問題)

- ✓ 食品ロス問題を知ろう
- ✓ プラスチック問題と温暖化の関係とは？
- ✓ 生物多様性の視点から環境問題を見てみよう
- ✓ もっと知りたい環境の新常識
- ✓ 工場・事業所におけるカーボンニュートラルとは？
- ✓ 新たな生活様式の中で、私たちにできるECOとは？
- ✓ あなたの身近なSDGsは？！

社内表彰制度 リンナイグループ環境大賞

環境経営に貢献する優良な取組みをしている部門・個人を表彰する制度で、これを通じて、取組意欲の醸成と他拠点への波及を図り、優良な取組みを広げる

社内向け告知ポスター



社内表彰制度 リンナイグループ環境大賞



- ・2010年創設、今年で14回目の開催
- ・大賞選出者は年賀式にて社長より表彰
- ・これまでの延べ応募総数1,450件以上

選考・表彰の流れ

1次選考（各部門の次長・課長）

2次選考（各部門の部長・工場長）

最終選考[順位決定]（部門責任者）

表彰（年賀式で執り行う）



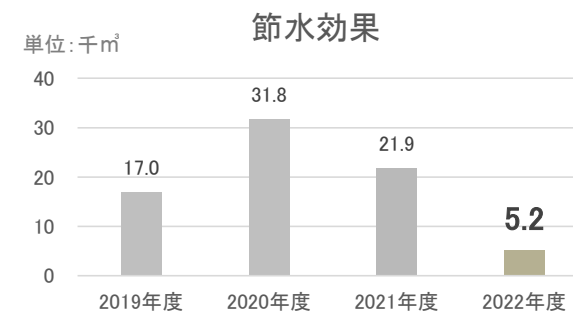
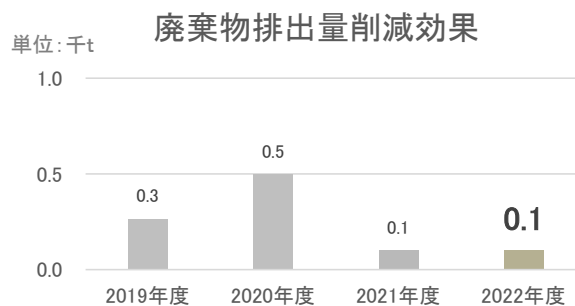
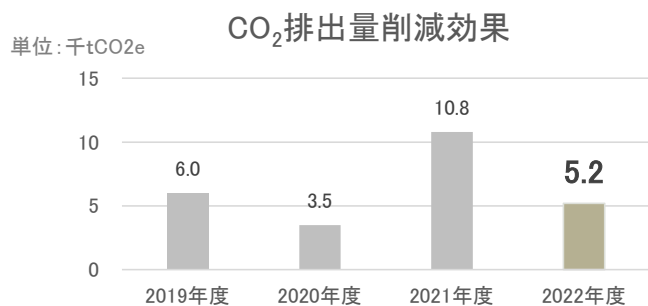
社内表彰制度 リンナイグループ環境大賞(効果)



応募事例(積み上げ)による環境経営効果 (2019年度-2022年度)

単位:百万円

環境保全対策に伴う 経済効果	主な取組み(主に、製造・物流・事務における環境取組み) 省エネルギーおよび廃棄物削減、節水による費用削減	経済効果額			
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		295	538	359	179

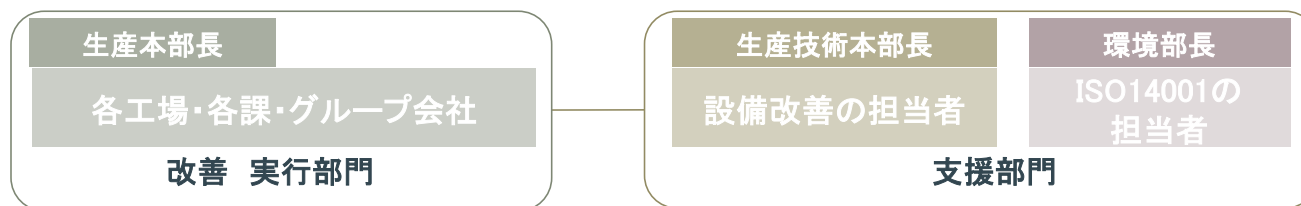


環境人づくりへの道 1

製造部門 向け

生産本部・生産技術本部・環境部が一体となり、コストパフォーマンスを意識した環境人材教育(知識+OJT)を実施

＜次世代教育の仕組みイメージ＞



環境監査員向け 教育



排水処理場での現場改善(OJT)

それぞれが、学んだ事を
同工場の他メンバーへも展開

多様な視点



- ・改善提案
- ・Dx推進
- ・安全
- ・雇用
- ・作業のしやすさ…etc



社長表彰 環境大賞への
応募につながる
地球環境問題の視点で
改善成果をまとめて提出

- (例)残業の削減
- ⇒ CO₂削減
 - ⇒ 電気代の削減
 - ⇒ ワークライフバランス向上

改善の「流れ」をつくるために 多様な視点から対応していく

環境人づくりへの道 2

取引先様
物流業者様向け

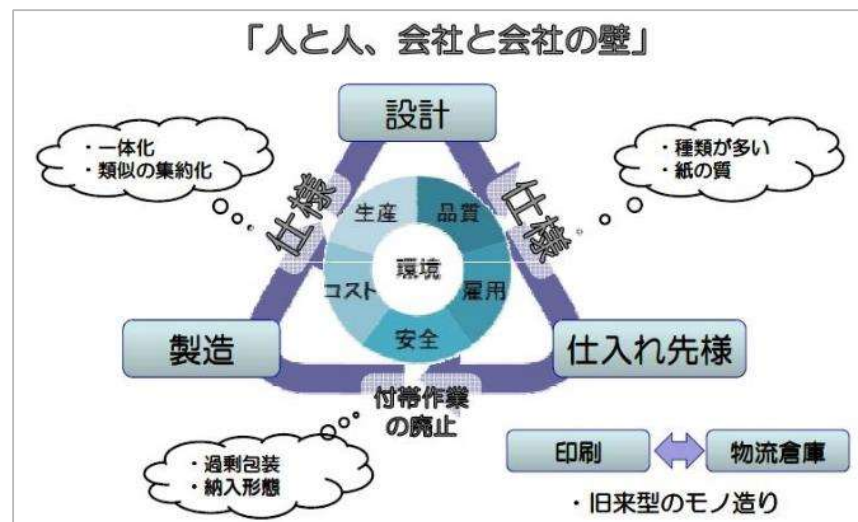
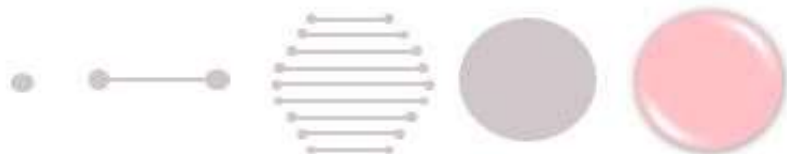
環境改善の支援範囲を自社グループだけでなく**サプライチェーン(取引先様・物流業者様)**へも拡大



改善成果を資源循環型ものづくり
シンポジウムで発表

当社のめざすサプライチェーン改善 イメージ

点から線へ⇒ 線から円へ⇒ 円から球へ



取引先様とともに行ったサプライチェーン改善 発表資料一部
「活動テーマ：紙に特化した改善」

環境人づくりへの道 2

取引先様
物流業者様向け

取組紹介

サプライチェーンを通じた環境改善 「活動テーマ:紙に特化した改善」より一部抜粋

紙の包みと紙の仕様の見直し



- ①紙厚の最適化
品質を落とさず軽量の実現
- ②紙厚仕様の統一化
継続品の変更など設計変更
- ③受発注のルール
スキッド材のリードタイムに合わせた受発注管理

1ヶ包装 約20kg (A1*500枚)
長所:リードタイム短い
常時在庫あり
短所:開梱作業(ゴミ)重労働

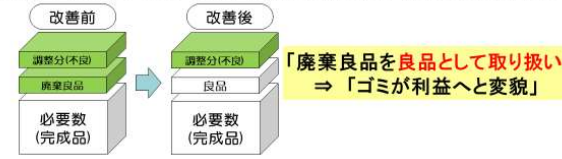
スキッド材(個包装レス) 18,000枚 36包分
長所:開梱作業必要なし
短所:リードタイム長い(約2カ月)
大ロット品に対応

「設計と製造の調和により実現」

捨てない工夫

①工業製品の印刷物はチラシなどと違い、継続発注品のため、発注ロットを下回っても問題ない

②必ず余らせて捨てるから必要数を狙い良品の廃棄廃止



③歩留まり改善を「売上」に変える

歩留まり改善(調整分(不良)を減らす)すれば、
ごみが減り利益が増える。 → 環境マインド改善

ゴミの出ない荷姿①

印刷 → 梱包 → パレット積 → ラップ

改善前: 印刷 → 梱包 → パレット積 → ラップ (見本は廃止済)

改善後: 印刷 → × → パレット積 → ラップ

改善による年間効果 : 紙の削減▲50t、CO2削減▲50t、原紙コスト▲760円

〈算出根拠〉

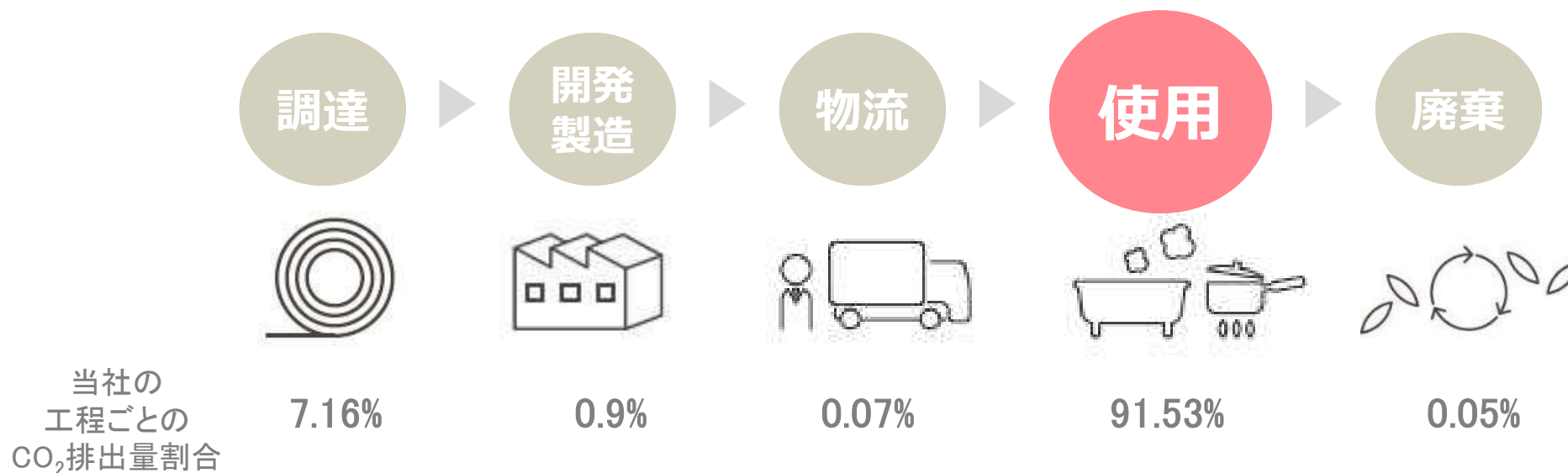
※1: 日本製紙連合会 印刷用紙1t = 1t-CO2

※2: 紙の取引価格 紙A1 = 10円(原紙の一般価格)

環境人づくりへの道 3

営業部門
サービス部門 向け

当社のサプライチェーンの中で、一番多くのCO2を排出する工程の関係者へエコな知識を知ってもらう機会を！



今後、カーボンニュートラルを見据えた
中長期レベルでのグローバル環境戦略へつなげる

環境人づくりへの道 3

営業部門
サービス部門 向け



ここにあてはまるSDGsのアイコンを置いてみよう！

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

ヒントは「エコ」と「家事が楽になる」

6 安全な水とトイレを世界中に

SDGsのアイコンが描かれたサイコロを回しながらクイズの正解アイコンを探す体験コーナーを設置

エコ

当社ブースへの来場者数
6,000名以上/年(開催期間3日間計)



- ・お客様へ当社製品のecoな使い方を紹介
- ・取引先様、販売店様、次世代のお客様との交流を通じて商品設計や販売にフィードバック

環境人づくりへの道 3

販売店の皆様 向け

リンナイのSDGsへの取組みの定義付け

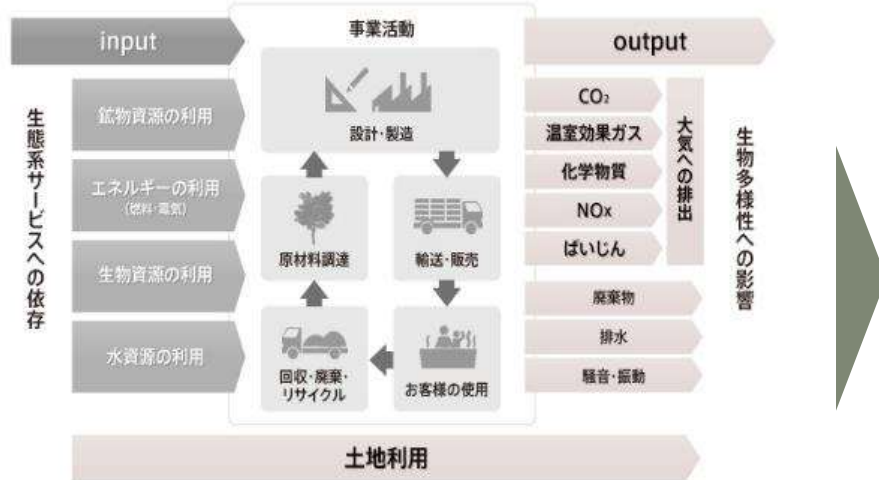
ページ	商品名	テーマ	貢献内容	ゴール
03	ハイブリッド給湯器	省エネ性	給湯器のエネルギー効率向上で、地球環境に貢献	7 再生可能エネルギー、13 気候変動
04	ハイブリッド給湯器	レジリエンス	ガスと電気のハイブリッドで、災害時のライフライン確保に貢献	11 持続可能な都市とコミュニティ
05	マイクロバブルバスユニット	健康増進	入浴における微細な気泡による温浴効果で、健康生活に貢献	3 健全な生活
07	ガス衣類乾燥機	家事の時短化	パワフルなガス乾燥で洗濯作業を時短し、家事負担の軽減に貢献	5 働きがい、経済成長、男女平等
09	食器洗い乾燥機	節水	食器洗いでの節水で、水資源の保全に貢献	6 清潔な水と衛生
10	食器洗い乾燥機	家事の時短化	食器洗いの自動化で、家事負担の軽減に貢献	5 働きがい、経済成長、男女平等
11	自動調理機能付きコンロ	家事の時短化	調理の自動化で、家事負担の軽減に貢献	5 働きがい、経済成長、男女平等
12	浴室暖房乾燥機	ヒートショック防止	浴室暖房で入浴時の温度差をなくし、ヒートショックの予防に貢献	3 健全な生活
13	ガスタンクレス給湯器	省エネ性	給湯器のエネルギー効率向上で、地球環境に貢献	7 再生可能エネルギー、13 気候変動
14	ガスボイラー	大気汚染対策	給湯暖房での石炭燃料からガス式への切り替えて、大気汚染抑制に貢献	3 健全な生活、11 持続可能な都市とコミュニティ



<https://www.rinnai.co.jp/csr/sdgs/>

事業活動と自然の関わり・対策検討

リンナイグループの事業活動と生物多様性とのかかわり

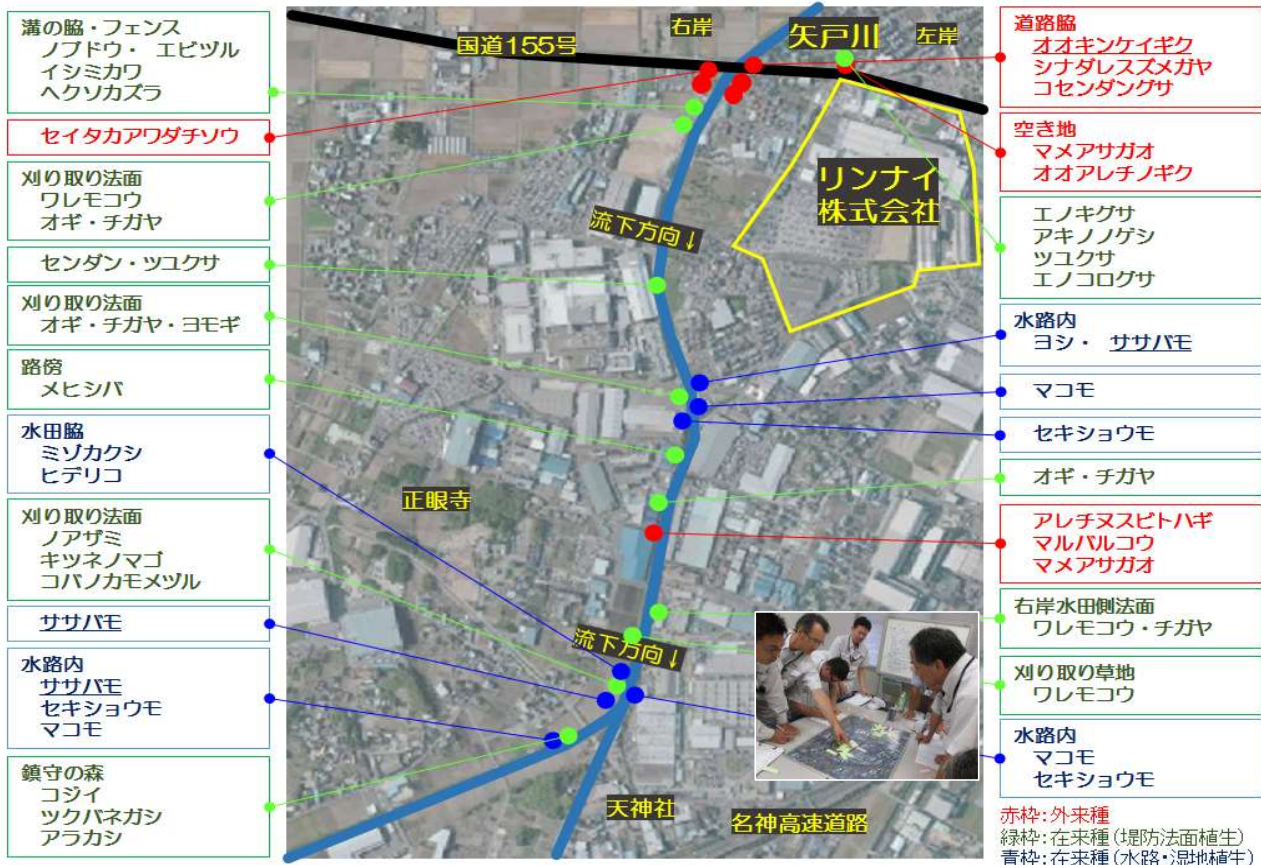


- ・事業活動が自然に与える影響・依存要素を把握
- ・事業工程ごとに考えられるリスクの整理と対策の検討
- ・当社と自然との関わりを見据え、**環境負荷低減を通じて生物多様性にも寄与する活動(CO2・廃棄物・水など)を推進**

影響要因	リンナイとの関係性 (例)	主な活動 テーマ	主な取り組み
温暖化	CO2など温室 効果ガスの排出	温暖化 防止	商品の省エネ設計 工場・物流・オフィ スの省エネ
過剰 消費	資源の消費	資源循環 省資源 地域貢献	投入資源の削減 再資源化 循環利用 外来種駆除
外来種	部品や製品輸送 に伴う移入		
土地 利用	地下資源の採掘 や建設等に伴う 土地改変		
汚染	管理不徹底による 化学物質の放出	汚染防止	製品含有・製造 使用の削減 公害防止

まずは知ることから

自然観察会



- 実施日程: 2016年9月
- 参加者: 環境担当者 など
- 観察ルート: リンナイ大口工場・矢戸川流域 (愛知県丹羽郡)

約2時間の観察で46種類

- 特定外来生物**
 - ・オオキンケイギク
- 要注意外来生物**
 - ・シナダレススメガヤ
 - ・セイタカアワダチソウ
 - ・オオアレチノギク
 - ・コセンダングサ
- 特徴在来生物**
 - ・ワレモコウ
 - 他7種
- 絶滅危惧**
 - ・ササバ



外来生物法とは

この法律の目的は、**特定外来生物**による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止し、**生物の多様性**の確保、人の生命・身体の保護、農林水産業の健全な発展に寄与することを通じて、国民生活の安定向上に資すること

「特定外来生物」とは？

外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される。

特定外来生物は、生きているものに限られ、**個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる**



分類	行為(対象:特定外来生物)	罰則(懲役または罰金)	
		個人	法人
輸入関係	許可なく輸入した場合	・3年以下 または ・300万円以下	・1億円以下
	許可なく輸入した場合(※未判定外来生物)	・1年以下 もしくは ・100万円以下	・5千万円以下
販売関係	許可を受けていない者に対して販売や配布をした場合	・3年以下 もしくは ・300万円以下	・1億円以下
飼養関係	許可なく飼養等をした場合(販売・配布目的)	・3年以下 もしくは ・300万円以下	・1億円以下
	許可なく飼養等をした場合(愛がん(ペット)等の目的)	・1年以下 もしくは ・100万円以下	・5千万円以下
	偽りや不正をして飼養等の許可を受けた場合	・3年以下 もしくは ・300万円以下	・1億円以下
放出関係	許可なく野外に放ったり・植えたり・まいたりした場合	・3年以下 もしくは ・300万円以下	・1億円以下

外来生物法とは

2023年6月1日よりアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が始まりました！



「条件付特定外来生物」は、外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、通常の特定期間外生物の規制の

一部を、当分の間、適用除外とする（規制の一部がかからない）生物の通称です。「条件付特定外来生物」も、法律上は特定外来生物となります。



▲アカミミガメ



アカミミガメの幼体
(ミドリガメ) ▼



▲アメリカザリガニ



タイゴーストと呼ばれる
アメリカザリガニの品種 ▼

写真提供：（一財）自然環境研究センター

オオキンケイギクの駆除活動（生物多様性保全）



**この植物を植えたり、
拡げたりすることは、
禁止されています。**



オオキンケイギクは、「特定外来生物」です！

5月〜7月頃に咲いて、鮮やかな黄色の花をつけるオオキンケイギク。九州各地の道路や河原などでよく見かけます。しかし、きれいな景観からといって、この花の自殖や定植は、絶対にいけません！

オオキンケイギクは、日本の在来種に重大な影響をおよぼすおそれがある植物として、外来生物法による「特定外来生物」に指定され、販売、運搬、搬入、野外に放つことなどが禁止されています。

「特定外来生物」とは？

「特定外来生物」とは、外来生物法（正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」）により、生態系などに被害を及ぼすおそれがあると認められた生物です。外来生物法では、特定外来生物に指定された生物を飼育・持ちこたえ・運搬・販売・搬入・野外に放つことなどを厳禁しており、罰則が定められています。

なぜオオキンケイギクが「特定外来生物」に指定されたのか？

在来種とのオオキンケイギクは、強健で競争のグラウンドカバー、遮陰が強く、お花の美観が奪われるという理由で、緑化のため道路の両側などに利用されたり、ポット苗としても生産・販売されていました。

しかし、お花の強健さのために一旦定着すると、在来の野草を駆逐し、在来の野草を駆逐してしまったりもしています。

人の手でこれ以上広がらないようにするため、国連では、早稲18年2回、「特定外来生物」に指定しました。

オオキンケイギクを駆除するときの注意

オオキンケイギクが盛んに生えているのを発見したら駆除しましょう。しかし、オオキンケイギクは生きたまま駆除される、保管するなどの行為が禁止されています。

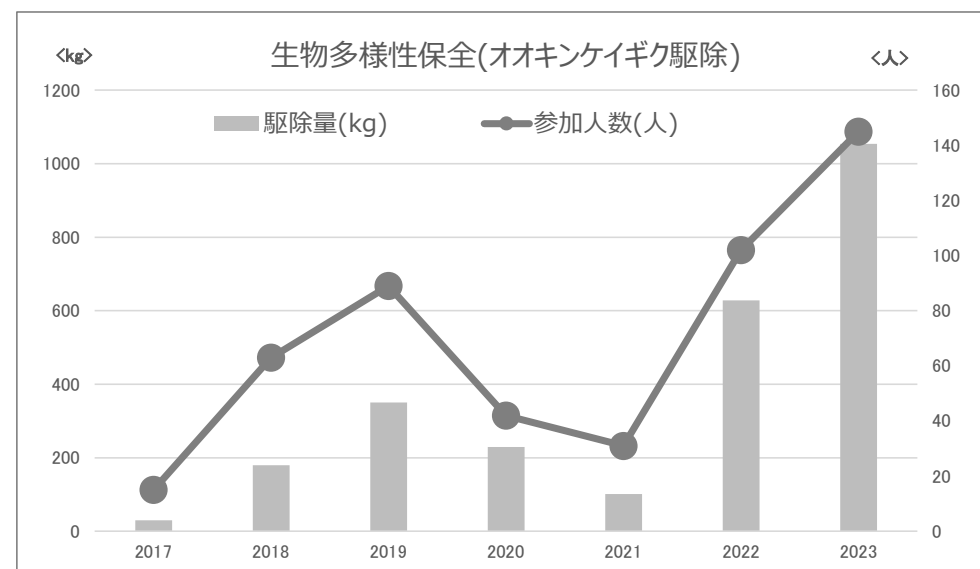
駆除する際には、目から引離されたものを2〜3日天日にさらして乾燥させる等した後、各自自治体のゴミの分別方法に従って処分して下さい。焼却によっては病原菌による感染も危険なものです。焼却しないようにするためには、種子をつける前に駆除することが求められます。

オオキンケイギクに関する詳細の情報を下記から探すことができます。是非ご覧ください。
http://kyushu.env.go.jp/wildlife/motiv_2.html (九州環境自然保護センター)

その他の「特定外来生物」や「外来生物法」について知りたい方は、下記「外来生物法」のページをご覧ください。
<http://www.env.go.jp/nature/motiv/> (環境省自然保護センター)



オオキンケイギクの駆除活動（生物多様性保全）



2023年度: 17の企業・団体にご参加いただきました

リンナイと
オオキンケイ
ギクの関係

- ・ 他から持ち込まれ自然に被害を及ぼす影響のある生物(特定外来生物として国から指定)
- ・ 企業が栽培や保管、運搬などを行った場合、1億円以下の罰金が科せられる
- ・ 当社工場の周辺は、通勤車やトラックが往来し、それらに種子が付着し運び込まれた可能性あり

自然に触れる機会の提供（地元野菜を通してマインドを高める）



地元の伝統野菜や旬の野菜の種を配布

育てることを通して…

- ・青大きゅうり
- ・八事五寸にんじん
- ・大高菜
- ・十六ささげ
- ・白花千石豆
- ・下仁田ネギなど

これまでの参加数 延べ1,000名（2016年～実施）
自然に親しむ機会・家族とともに



社員食堂で地元食材を使ったメニュー提供

味わうことを通して…



加賀太きゅうりの
生姜煮



能登産ふくらぎ
竜田野菜あんかけ



加賀野菜天ぷら
とかき揚げ



能登豚の生姜焼き

（当社関連子会社のアール・ビー・コントロールズにて実施）

社外表彰 これまでにいただいた 生物多様性関連の表彰



2019.12
生物多様性アクション大賞「入賞」
主催：国連生物多様性の10年委員会(UNDB-J)



2020.10
あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス
「グッドプラクティス」受賞
主催：愛知県、名古屋市



あいち生物多様性
優良認証企業



2022.11
あいち生物多様性企業評価制度
「優良認証企業」認定
主催：愛知県

生物多様性に配慮していく取組みが、環境人材の育成につながっている

Thank you

Rinnai